

登録コード	BSB82567		開講年度	2026			
授業題目	生命工学演習Ⅱ(22BS以降)					担当教員	伊原 正喜
英文授業名	Seminar in BiotechnologyⅡ					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力を伸ばす。
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	英語で書かれた科学論文の内容(実験目的, 実験手法, 結果, 考察)を正確に読み込み, それを客観的に評価すると同時に, 決められた時間内に, 第3者に説明することができるようになる。
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	生命現象に関わる遺伝子発現から物質代謝など仕組みを分子、細胞、生物個体、集団レベルで深く理解するとともに、それらを考察する能力の習得を目指す。研究データの解析力、研究計画力、および研究成果のプレゼンテーション能力を高め、科学英語の読解力も習得する。
(2)授業の概要	修生体関連化学や環境科学に関する研究課題の設定、実験計画立案、実験による実証、実験結果の考察、論文作成のためのトレーニングを行う。研究成果については、学会発表や学会誌への投稿等を目指す。						
(3)授業計画	1. 研究計画の立案 2. 実験研究の実際 3. 投稿論文作成の立案 4. 論文投稿の実際 5. 修士論文作成の立案 6. 修士論文作成の実際 7. 修士論文発表の立案 8. 修士論文発表の実際						
(4)成績評価の方法	主に、研究成果、学会発表や学会誌への投稿の有無で判断するが、論文読解能力や実験計画能力、科学論文作成能力の向上度合いによっても判定する。						
(5)成績評価の基準	研究を遂行する中で、教員から提案に対する質疑応答、受講者から提案とそれに対する質疑応答、関連する国際雑誌の内容についての質疑応答、実験原理に関する質疑応答、実験計画の提案とそれに関する質疑応答、実験結果に関する質疑応答と考察、実験結果に対する対策提案が可能である。ただし、受講者による応答や提案の到達深度では問わず、問われたことに対して回答したかどうかを基準とする。						
(6)事前事後学習の内容	関連する学術論文をよく読み、自分なりの実験計画を立てる。						
(7)履修上の注意	論文を50報以上読むことと、学会で研究成果を1回以上発表を行うことを必須条件とする。就職活動中など、欠席が続いた場合(2週間連続欠席など)には、不可とする。						
(8)質問,相談への対応	随時						
(9)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						